

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	高次脳機能障害等啓発事業 (420381)			担当課	障害者福祉課		
	開始年度	平成19(2007)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	小野木 正章		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉援護費	決算附属資料	122・124	頁	
	施策の大綱	障害のある人の福祉の充実			関連計画等	福知山市障害者計画		
	施策名	理解を深める啓発を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	一般的にその障害名や症状等が知られていない「高次脳機能障害」への理解を深めるとともに、当事者やその家族間の交流や情報交換を図る。						
	対象者	市民	対象者数	80,000	一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会の開催						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報償費		高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会にかかる講師謝礼等			53	
需用費		高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会チラシ代			7			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		92	94	94	85	
		補正予算等・・・②		0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
		財源内訳	一般財源		92	94	94	48
			国支出金		0	0	0	25
			府支出金		0	0	0	12
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	0	0	0
			特定財源名称 (H29実績)					頁 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.05/0	0.07/0	0.07/0	/	
		概算人件費・・・④		400	560	560		
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			492	654	654		
執行状況	執行額・・・⑥		5	60				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		5.4%	63.8%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		参加者数	人	122 / 100	73 / 110	/ 120	120	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		会議開催回数	回	4/4	4/4	/4	4	
		単位あたりコスト		1.3	15.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・高次脳機能障害の知名度は低く、支援機関や連携についても不十分であるため、継続して周知啓発を図る必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・参加料は無料。予算は、講師料等学習会開催費用に充てている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・家族の会等と連携し継続して実施することで、ニーズを把握しながら啓発活動を行うことができている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	毎年、継続して取り組みを続けることで周知を図っている。先進事例や障害の概要説明のみに捉われず、リハビリテーションや先進事例の報告、家族支援について発信をするなど、当事者等のニーズも確認しながら啓発活動を行うことができている。	
	今後の課題及び方向性	高次脳機能障害について広く市民に周知を図り、事故や病気の後に誰にでも起こりうる障害であることを理解してもらうために、専門的な内容に偏らないよう講演内容の選定を図る必要がある。 医療機関、相談支援事業所及び障害者通所事業所にも実行組織に加わっていただき、当事者を含む様々な関係機関と啓発のあり方について一緒に検討していく。企業関係者にも啓発を実施する。 また、H30年度秋頃に府が設置を予定しているリハビリテーション支援の北部活動拠点とも連携を実施していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>今後は、京都府に設置された北部リハビリテーション支援センターとの連携を深めながら更に広報を充実し、高次脳機能障害についての市民への啓発を継続して実施する。</p> <p>【H29棚卸しに係る見直し状況】</p> <p>・関係機関・当事者団体メンバーで構成する高次脳機能障害学習・交流会打合せ会議を定期的開催。啓発学習会に関する協議や情報連携はできていることから、新たに実行委員会は設置しないこととした。</p> <p>・他課が所管する団体への広報を実施した。</p>	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	情報コミュニケーション施策推進事業			420386	担当課	障害者福祉課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	小野木 正章			
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉援護費	決算附属資料	124	頁		
	施策の大綱	障害のある人の福祉の充実			関連計画等	福知山市障害者計画			
	施策名	理解を深める啓発を充実させる			根拠法令等	障害者基本法、障害者差別解消法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	障害のある人がその障害特性に応じたコミュニケーション手段を利用しやすい環境を構築し、障害のある人もない人も分け隔てられることなく理解しあい、お互いに一人ひとりの尊厳を大切に安心して暮らすことができる共生社会を実現するため、手話言語・情報コミュニケーション促進条例を施行する。							
	対象者	市民	対象者数	80,000	一人当たりコスト	0.02			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	「福知山市手話言語及び障害のある人の多様なコミュニケーション促進条例」を制定するとともに、条例の啓発を行う。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		報酬		自立支援協議会委員報酬			176		
報償費		条例制定記念講演会講師謝礼等			54				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①		0	294	0	0		
		補正予算等…②		0	△ 24	0	0		
		繰越し等…③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		0	270	0	0	
			国支出金		0	0	0	0	
			府支出金		0	0	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
			その他特財		0	0	0	0	
			特定財源名称(H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.15/0	0/0	/		
		概算人件費…④		0	1,200	0	0		
総事業費(①+②+③+④)…⑤			0	1,470	0	0			
執行状況	執行額…⑥		0	230					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	85.2%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		条例の制定・施行		-	-	制定/制定			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		条例制定記念講演会		回	-	1/1			
		単位あたりコスト			-	230.0			
			/	/	/				
単位あたりコスト									

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国等の法整備の動向も踏まえ、市として、条例を制定し、取り組んでいくべき事項である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	具体的な事業を実施していないため、効率性は評価できない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年12月25日に本条例を制定し、平成30年4月1日に施行した。	
	今後の課題及び方向性	条例の制定に伴い、本事業としては平成29年度をもって終了する。今後は手話言語・情報コミュニケーション推進事業として、条例の基本理念に則り、手話言語への理解の普及や障害の特性に応じた多様なコミュニケーション手段の利用の促進など、条例の具現化に向けた事業を展開する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例を制定することが目的である事業であるから、事業目的に条例制定を明確にすべき。 ・H30は別シートとすべき ・条例制定は担当課の仰るとおりスタート地点 ・市民への啓発、何らかのアウトカムの設定、その達成手法の具体化が注目される 		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</p> <p><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、条例制定を目的としていめるため、平成29年度をもって廃止とした。 ・平成30年度より、「手話言語・情報コミュニケーション推進事業」として、条例の基本理念に則った施策を推進する。 	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	